

一般社団法人  
舞台芸術制作室  
無色透明

演劇の手法を活かしたコミュニケーションの場づくり

■障がいのある方・地域に暮らす方等、広く参加対象とする。広島市公共施設を会場に、参加費無料での実施。ファシリテーターを中心として開催する「演劇クラブ」全4回中2回実施。プロの演出家を講師に開催する「広場をつくろう2021」全1回実施。プロのダンサーを講師に招く「♪K.D.S DANCE SCHOOL&おきらく劇場ピロシマ ダンスと演劇のワークショップ♪」全1回実施。

■演劇クラブやワークショップでは、身体障がいの有無、年齢差に関わらず参加者同士が楽しそうにコミュニケーションをとっている様子が多く見られた。出来ないことが見つかった時は、どう解決するかを全員で考え、アイデアを出し合いながら助け合った。これにより、講師を含めた参加者全員が相互理解を深め、打ち解けることができた。

■自己紹介や身体表現ゲームを時間をかけて行うことで、初参加者もリラックスして活動を楽しんでいた。初参加者が継続して参加したくなるような環境づくりのために、ワークショップ後には参加者との振り返りを行っている。その際に聞いた参加者の感想を参考に次のプログラムを計画する。

■今年度の新たな試みとして、短い演劇を作るグループワークを行っている。あらかじめ指定された場所(駅、病院など)を舞台に、ドラマを成立させるためにどうすればよいか考える、演劇創作体験プログラムである。参加者は苦戦しながらも、運営側も想定していなかったような刺激的なドラマを創作し、みんなの前で発表した。演劇は役者・観客がその場所への共通のイメージを持っていないと成立しない。演劇作品において「共有する」ことの大切さを全員で学ぶことができる、効果的なワークになった。



演劇クラブチラシ(表)



演劇クラブチラシ(裏)



演劇ワークショップチラシ

みんなでアイデアを出し合いながら作品を発表



参加者同士で支え合いながらゲーム進行



広島に住む人々が気軽に劇場へ足を運ぶような、『芸術のある暮らし』を普及するために社会とアートを繋ぐ事業を行います。福祉や介護、子育て支援活動など、芸術の持つ力を広い分野に活用することで、広島市の豊かなまちづくりに寄与します。

Web・SNSを利用した情報発信

■劇団運営のYouTubeチャンネルから定期的に演劇クラブの活動内容を動画で発信。TwitterやFacebook等のSNSにて活動風景を公開。演劇に関心のある人へ活動を広める。

おきらく劇場ピロシマ Youtubeチャンネル



演劇公演企画

■今年4月3日、4日に宮崎市で開催された「ゆかいな劇場のつくり方」において演劇クラブ参加者と地域俳優の協同創作作品「ウタとナンタの人助け2021」を上演。来年2月には演劇クラブ参加者を中心に創作した「コロナの詩(うた)」公演予定。

課題と展望

■感染症拡大の影響で、作品発表が可能な施設が少ない状況にある。この状況下においても利用可能な会場探しと、施設と当団体の繋がりを維持することが恒常的な課題となっている。

■言葉だけでなく、音やダンス、楽器や絵など多様な表現方法を模索する。「出来る・出来ない」に縛られることなく、参加者全員が楽しみつつ自己表現が可能な芸術文化活動を目指す。



舞台芸術  
制作室  
無色透明